



平成21年11月11日

SaaS型物流情報システムの開発について

～ NTTグループのSaaS基盤を活用した初めてのSaaS型物流情報システム～

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ(代表取締役社長 :中川雅行、本社 :東京都千代田区、以下NTTロジスコ)はNTTグループのSaaS^{注1}基盤を活用した初めてのSaaS型物流情報システムを開発しました。なお、平成 21年 11月 11日 (水)から開催中のHOSPEX Japan 2009 (主催 :日本医療福祉設備協会、社団法人日本能率協会)でデモ展示を実施しています。

1.開発目的

NTTロジスコは、ITを駆使した3PL提案強化の一環として、SaaS型の物流情報システムを開発しました。これにより

仮想化技術等の採用によるオンデマンド型のサービス提供が可能

最新鋭の技術、堅牢なデータセンター環境を利用可能

NTTグループが提供するアプリケーションのほか、他のSaaS事業者(パートナー等)が提供するアプリケーションとの連携が可能

インターネットだけでなく、IP-VPN、モバイルによる接続など多様なネットワークでの接続が容易になる

など、高品質でセキュア、柔軟で発展性のある物流情報システムが安価で短期間に構築することが可能となります。

2.システム概要

(1)医療機器業界向け物流情報システム(Lomio)^{注2}

薬事法上の規制に対応した医療機器業界向けの物流情報システムです。ロット・シリアル管理、有効期限(使用期限)管理等必要な機能を標準装備し、Webによる受発注にも対応しています。これまで提供していたパッケージ型のシステムをベースに豊富な経験と実績を踏まえ汎用的なSaaS型のシステムとして発展させました。

(2)倉庫システムと連動したWeb型物流管理システム(WebLMS)^{注3}

倉庫システムと連動したWeb型の物流管理システムです。最新の実在庫と論理在庫情報をベースにリアルタイムの在庫管理や受発注管理を行いたいというニーズに安価でかつ短期間で導入できるようSaaS型システムを新たに開発しました。

(3)検査・RMA^{注4}/24時間緊急配送物流管理システム(NOVUS)^{注5}

検査・RMA物流(ネットワーク機器等の輸入代行、受入検査、出荷設定、国内エンドユーザーへ配送、保守対応時の代替機配送)と24時間緊急配送物流(ネットワーク機器等の障害発生時、お客様ご要望にあわせた設計での配送)の2つを支える物流管理システムです。従来はASP型として提供していましたが、今回新たにNTTグループのSaaS基盤を活用するタイプも提供することとしました。

【参考】利用するSaaS基盤

NTTグループが提供する以下のSaaS基盤を利用しています。

(1)エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社「BizCITY for SaaS Provider」

(2)日本情報通信株式会社「クラウドコンピューティング・サービス」

3.今後の予定

今後、「在庫管理ソリューション」、「見える化ソリューション」についても、SaaS型のアプリケーションサービスを開発する予定です。

また現在、既に一部の顧客に対して今回開発したSaaS型物流情報システムをベースにした3PL提案を進めていますが、提供時期等については別途お知らせする予定です。

<注釈>

注2: Lom io= LogiscoMedical Information Ordering Systemの略

注3: WebLMS= Web Logistics Management Systemの略

注5: ラテン語で「新しい」を意味する「NOVUS」をシステム名称として利用

